



木目の質感とファブリック、すべて落ち着いたトーンで統一して、くつろぎの空間を目指す。

アンティークの木のぬくもりを大切にしたスペース

若者に人気の楽しいエリア、クロイツベルク。その地区にある彼女のすまいは、正規のアパートではないが、独自のリフォームをしている。117平米、4部屋＋キッチン＋浴室。「上の階にも同じ広さでアトリエがあるけれど、合わせてすごく安く借りているわ。」羨ましい話だが、短所も多いそうだ。「まずセントラルヒーティングではないこと。灯油暖房だけれど、これだけの広さでしょ、かなり不経済なの。だから冬はもっぱら部屋の中でスキーウェアを着込んでいるわ(笑)。それから静かすぎること。まわりにほとんど誰も住んでいないから、孤独を感じることもあるわ。創造の仕事をしている時はいいんだけどね。人が生活している音って活気があって好きだから、時々人恋しくなるの」。仕事部屋を中心に、アンティークの木製家具が多く使われている。銀で夢を紡ぐ仕事にはふさわしい、柔らかな雰囲気漂う演出に、訪れる人は穏やかな気持ちになることだろう。



「私にとってこの住まいは、最も仲の良いボーイフレンドってところかしら」居心地重視の空間割り。

Susanne Sous

スザンネ・スウス、銀デザイナー。アーヘン出身。在ベルリン6年。銀＋紙、やすり等、意表をついた組み合わせや、蠟やパン生地(食べられる!)の指輪等が面白い。リングやネックレス中心の作品は20~2000DM
☎49・30・7899・2592



電話をして予約すれば銀ジュエリーの見学も可。お部屋と合わせて見学し、両方参考に。



木の棚は、そこにあるだけで人の心を和ませる。木のぬくもりと仕事の道具がうまく調和した独特のムード。



画家トビアス・ブラクマンのオリジナル2点と、観用植物ベンジャミナが温かい調和をつくっている。